【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	国語総合	4	12	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
8	4		4

教科書・副教材等

高等学校 改訂版 新編国語総合 （第一学習社）

学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	挨拶上手・身近な動植物の名を覚えよう	①	1・2	○	
(2)	指・島の少年	②	3・4	○	
(3)	道程・小景異情	③	5・6	○	
(4)	日本語のこころ・言葉の海のオノマトペ	④	7・8		
(5)	鳩と蟻のこと・児のそら寝	⑤	9・10		
(6)	竹取物語・枕草子	⑥	11・12		
(7)	羅生門	⑦	13・14		○
(8)	十六歳のとき・数の不思議に魅せられて	⑧	15・16		○
(9)	鉄道員	⑨	17・18		○
(10)	大切の言葉・よだかの星	⑩	19・20		
(11)	「ネットの時代」をどう生きるか・イースター島になぜ森がないのか	⑪	21・22		
(12)	漢文（故事・漢詩）	⑫	23・24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	国語表現	3	9	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
6	3		3	

教科書・副教材等

国語表現　改訂版（教育出版）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	文章表現の基礎	①	1･2	○	
(2)	小論文Ⅰ	②	3･4	○	
(3)	声の表現	③	5･6		
(4)	人とつながる言葉／面接	④	7･8		
(5)	言葉遊びと創作	⑤	9･10		○
(6)	言葉を届ける／プレゼンテーションの方法	⑥	11･12		○
(7)	小論文Ⅱ	⑦	13･14		○
(8)	話し合いの方法／エッセイを書く	⑧	15･16		
(9)	メディア・リテラシー／社会にはたらきかける表現	⑨	17･18		
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	現代文A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

現代文A （東京書籍）

学習目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	小説編（みどりのゆび・ナイン）	①	1・2	○	
(2)	小説編（山椒魚）	②	3・4	○	
(3)	小説編（こころ）	③	5・6		
(4)	随想・評論編（さくらさくらさくら・ミロのヴィーナス）	④	7・8		○
(5)	随想・評論編（分からないからおもしろい・豊かさと生物多様性）	⑤	9・10		○
(6)	随想・評論編（言葉は世界を切り分ける・思考の肺活量）	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	現代文B	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

高等学校 改訂版 標準現代文B（第一学習社）

学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	「私」という「自分」	①	1・2	○	
(2)	折々のうた	②	3・4	○	
(3)	調律師のるみ子さん	③	5・6	○	
(4)	ワスレナグサ	④	7・8		
(5)	新しい地球観	⑤	9・10		
(6)	そこにひとつの席が・この世・永訣の朝	⑥	11・12		
(7)	コミュニケーションの文化	⑦	13・14		○
(8)	情けは人の……	⑧	15・16		○
(9)	相棒	⑨	17・18		○
(10)	食事・こころ・日本海	⑩	19・20		
(11)	僕らの時代のメディア・リテラシー	⑪	21・22		
(12)	鼻	⑫	23・24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	古典B	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

高等学校 改訂版 標準古典B（第一学習社）

学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	平中が事・文字一つの返し・小式部内侍が大江山の歌の事	①	1・2	○	
(2)	火鼠の皮衣・通ひ路の関守・小野の雪	②	3・4	○	
(3)	公世の二位のせうとに・よろづのことは頼むべからず・ゆく川の流れ	③	5・6	○	
(4)	中納言参り給ひて・雪のいと高う降りたるを	④	7・8		
(5)	忠度の都落ち・如意の渡りにて義経を弁慶打ち奉る事	⑤	9・10		
(6)	浦島太郎・亀を買ひて放つ事・望夫石	⑥	11・12		
(7)	延喜の帝・弓争ひ	⑦	13・14		○
(8)	光る君誕生・若紫	⑧	15・16		○
(9)	助長・嬰逆鱗・画竜点睛・推敲・朝三暮四	⑨	17・18		○
(10)	鼓腹撃壌・褒姒大笑・背水之陣	⑩	19・20		
(11)	鴻門之会	⑪	21・22		
(12)	論語・孟子・老子・荘子・韓非子	⑫	23・24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
国語	小論文研究	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

文章トレーニングノート（第一学習社）

学習目標

1. 書くための基本を身につけ、書くことの練習を重ねることで文章により自己の意見を論理的に筋道立てて主張できるようにする。
2. 多角的に考察する能力や、客観的事実をもとに自分の意見を述べる力を養う。
3. 国際的な視点で地域の文化を尊重できる国際協調の精神を持つ人材を目指すとともに、自己表現の育成を目指す。

以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	文章の書き方・接続詞・漢字	①		○	
(2)	文章の要約	②		○	
(3)	データ読み取り型小論文	③			
(4)	テーマ型小論文	④			○
(5)	文章読解型小論文①	⑤			○
(6)	文章読解型小論文②	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	世界史A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

世界史A （東京書籍）

学習目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 ユーラシア諸地域世界	①	1・2	○	
(2)	第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	②	3・4	○	
(3)	第3章 大西洋世界の変容とその波及 ／第4章 産業化社会の拡大と成熟	③	5・6		
(4)	第5章 アジア諸国の変貌と日本／第6章 帝国と民族の時代	④	7・8		○
(5)	第7章 二つの世界大戦の時代	⑤	9・10		○
(6)	第8章 冷戦と民族独立の時代／第9章 グローバル化のなかの危機	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	世界史B	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

詳説世界史 改訂版（山川出版社）

学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	序章 先史の世界／第1章 オリエントと地中海世界	①	1･2	○	
(2)	第2章 アジア・アメリカの古代文明／第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	②	3･4	○	
(3)	第4章 イスラーム世界の形成と発展	③	5･6	○	
(4)	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	④	7･8		
(5)	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開／第7章 アジア諸地域の繁栄	⑤	9･10		
(6)	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成／第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	⑥	11･12		
(7)	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	⑦	13･14		○
(8)	第11章 欧米における近代国民国家の発展	⑧	15･16		○
(9)	第12章 アジア諸地域の動揺	⑨	17･18		○
(10)	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	⑩	19･20		
(11)	第14章 二つの世界大戦	⑪	21･22		
(12)	第15章 冷戦と第三世界の独立／第16章 現在の世界	⑫	23･24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	日本史A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

日本史A 現代からの歴史(東京書籍)

学習目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	序章 私たちの時代と歴史／第1章 近代日本の形成	①	1・2	○	
(2)	第1章 近代日本の形成	②	3・4	○	
(3)	第1章 近代日本の形成／第2章 東アジア世界の変動と日本	③	5・6		
(4)	第2章 東アジア世界の変動と日本／第3章 二つの世界大戦と日本	④	7・8		○
(5)	第3章 二つの世界大戦と日本／第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本	⑤	9・10		○
(6)	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本／第5章 現代の世界と日本	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	日本史B	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

詳説日本史 改訂版（山川出版社）

学習目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 日本文化のあけぼの	①	1・2	○	
(2)	第2章 律令国家の形成	②	3・4	○	
(3)	第3章 貴族政治と国風文化	③	5・6	○	
(4)	第4章 中世社会の成立	④	7・8		
(5)	第5章 武家社会の成長	⑤	9・10		
(6)	第6章 幕藩体制の確立	⑥	11・12		
(7)	第7章 幕藩体制の展開	⑦	13・14		○
(8)	第8章 幕藩体制の動揺	⑧	15・16		○
(9)	第9章 近代国家の成立①	⑨	17・18		○
(10)	第9章 近代国家の成立②	⑩	19・20		
(11)	第10章 二つの世界大戦とアジア	⑪	21・22		
(12)	第11～13章 占領下の日本・高度成長の時代・激動する世界と日本	⑫	23・24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	地理A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

地理A （東京書籍）

学習目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 第1章 地球儀や地図からとらえる世界/第2章 結びつく現代世界	①	1・2	○	
(2)	第2編 第1章 世界的視野から見た自然環境と文化	②	3・4	○	
(3)	第2編 第2章 諸地域の生活・文化と環境（東・東南・南アジア）	③	5・6		
(4)	第2編 第2章 諸地域の生活・文化と環境（西アジア、北・サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ロシアとその周辺諸国）	④	7・8		○
(5)	第2編 第2章 諸地域の生活・文化と環境（北・中部・南アメリカ、オセアニア）	⑤	9・10		○
(6)	第3編 深刻化する地球的課題とその解決策／第4編 身近な地域と地理的課題	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
地理歴史	地理B	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

新詳地理B （帝国書院）

学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第Ⅰ部 1章 地理情報と地図／2章 地図の活用と地域調査	①	1･2	○	
(2)	第Ⅱ部 1章 自然環境（地形）	②	3･4	○	
(3)	第Ⅱ部 1章 自然環境（気候）	③	5･6	○	
(4)	第Ⅱ部 2章 資源と産業（農林水産業）	④	7･8		
(5)	第Ⅱ部 2章 資源と産業（工業）	⑤	9･10		
(6)	第Ⅱ部 3章 人口・村落・都市	⑥	11･12		
(7)	第Ⅱ部 4章 生活文化・民族・宗教	⑦	13･14		○
(8)	第Ⅲ部 2章 現代世界の諸地域（東アジア、東南アジア）	⑧	15･16		○
(9)	第Ⅲ部 2章 現代世界の諸地域（南アジア、西・中央アジア、アフリカ）	⑨	17･18		○
(10)	第Ⅲ部 2章 現代世界の諸地域（ヨーロッパ・ロシア）	⑩	19･20		
(11)	第Ⅲ部 2章 現代世界の諸地域（アングロアメリカ）	⑪	21･22		
(12)	第Ⅲ部 2章 現代世界の諸地域（ラテンアメリカ、オセアニア）	⑫	23･24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
公民	現代社会	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

現代社会 （東京書籍）

学習目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1部／第2部 第1章 青年期と自己形成の課題	①	1・2	○	
(2)	第2部 第2章 日本国憲法と民主政治	②	3・4	○	
(3)	第2部 第2章 日本国憲法と民主政治／第3章 現代社会と法	③	5・6		
(4)	第2部 第4章 現代の経済と国民福祉	④⑤	7～10		○
(5)	第2部 第5章 国際社会と人類の課題	⑥	11・12		
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
公民	倫理	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

高校倫理 新訂版 （実教出版）

学習目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1編 1章 青年期の課題と自己形成	①	1・2	○	
(2)	第1編 2章 人間としての自覚	②	3・4	○	
(3)	第1編 3章 日本人としての自覚	③	5・6		
(4)	第2編 1章 現代に生きる人間の倫理	④⑤	7～10		○
(5)	第2編 2章 現代の諸課題と倫理	⑥	11・12		
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
公民	政治・経済	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

高等学校 改訂版 政治・経済 （第一学習社）

学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1編 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法①～⑥	①	1･2	○	
(2)	第1編 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法⑦～⑫	②	3･4	○	
(3)	第1編 第2章 現代の国際政治と日本①～⑥	③	5･6		
(4)	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質①～⑦	④	7･8		○
(5)	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質⑧～⑮	⑤	9･10		○
(6)	第2編 第2章 国民経済と国際経済①～⑤	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学Ⅰ	3	9	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
6	3		3	

教科書・副教材等

改訂 新数学Ⅰ（東京書籍）

学習目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	プレリュード	①	1・2	○	
(2)	1章 数と式（整式・実数）	②	3・4	○	
(3)	1章 数と式（方的式と不等式）	③	5・6		
(4)	2章 2次関数（2次関数とそのグラフ）	④	7・8		
(5)	2章 2次関数（2次関数の値の変化）	⑤	9・10		○
(6)	3章 三角比（鋭角の三角比）	⑥	11・12		○
(7)	3章 三角比（三角比の応用）	⑦	13・14		○
(8)	4章 集合と論証	⑧	15・16		
(9)	5章 データの分析	⑨	17・18		
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学Ⅱ	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

改訂 新数学Ⅱ （東京書籍）

学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 方程式・式と証明（整式・分数式の計算）	①	1・2	○	
(2)	1章 方程式・式と証明（2次方程式）	②	3・4	○	
(3)	1章 方程式・式と証明（高次方程式・式と証明）	③	5・6	○	
(4)	2章 図形と方程式（座標と直線の方程式）	④	7・8		
(5)	2章 図形と方程式（円の方程式・不等式の表す領域）	⑤	9・10		
(6)	3章 三角関数（三角関数）	⑥	11・12		
(7)	3章 三角関数（加法定理）	⑦	13・14		○
(8)	4章 指数関数と対数関数（指数関数）	⑧	15・16		○
(9)	4章 指数関数と対数関数（対数関数）	⑨	17・18		○
(10)	5章 微分と積分（微分係数と導関数）	⑩	19・20		
(11)	5章 微分と積分（導関数の応用）	⑪	21・22		
(12)	5章 微分と積分（積分）	⑫	23・24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学Ⅲ	5	15	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
10	6		4	

教科書・副教材等

新編 数学Ⅲ （東京書籍）

学習目標

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 平面上の曲線 1節 2次曲線	①	1･2	○	
(2)	1章 平面上の曲線 2節 媒介変数表示と極座標	②	3･4	○	
(3)	2章 複素数平面 1節 複素数平面	③	5･6	○	
(4)	2章 複素数平面 1節 複素数平面／2節 複素数の応用	④	7･8	○	
(5)	3章 関数と極限 1節 関数	⑤	9･10		
(6)	3章 関数と極限 2節 数列の極限	⑥	11･12		
(7)	3章 関数と極限 3節 関数の極限	⑦	13･14		
(8)	4章 微分 1節 微分法	⑧	15･16		
(9)	4章 微分 2節 いろいろな関数の導関数	⑨	17･18		○
(10)	5章 微分の応用 1節 接線、関数の増減	⑩	19･20		○
(11)	5章 微分の応用 1節 接線、関数の増減／2節 いろいろな微分の応用	⑪	21･22		○
(12)	6章 積分とその応用 1節 不定積分（不定積分）	⑫	23･24		○
(13)	6章 積分とその応用 1節 不定積分（置換・部分積分法、いろいろな関数の不定積分）	⑬	25･26		
(14)	6章 積分とその応用 2節 定積分	⑭	27･28		
(15)	6章 積分とその応用 3節 定積分の応用	⑮	29･30		

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

改訂 新数学A（東京書籍）

学習目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 場合の数と確率（場合の数）	①②	1～4	○	
(2)	1章 場合の数と確率（確率）	③	5・6		
(3)	2章 図形の性質（三角形の性質・円の性質）	④	7・8		○
(4)	2章 図形の性質（円の性質・作図・空間図形）	⑤	9・10		○
(5)	3章 整数の性質（約数と倍数）	⑥	11・12		
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学B	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

新編 数学B（東京書籍）

学習目標

確率分布と統計的な推測、数列又はベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 数列 1節 数列	①	1・2	○	
(2)	1章 数列 2節 いろいろな数列／3節 漸化式と数学的帰納法	②	3・4	○	
(3)	2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル	③	5・6		
(4)	2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル／2節 ベクトルの応用	④	7・8		○
(5)	2章 ベクトル 3節 空間におけるベクトル	⑤	9・10		○
(6)	3章 確率分布と統計的な推測 1節 確率分布	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
数学	数学活用	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

数学活用（実教出版）

学習目標

数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 身の回りの数学（1節・2節）	①		○	
(2)	1章 身の回りの数学（3節） 2章 社会生活と数学（1節）	②		○	
(3)	2章 社会生活と数学（2節 測定と数学）	③			
(4)	2章 社会生活と数学（3節 コンピュータと人間の活動）	④			○
(5)	3章 数と人間（1節 エジプトとバビロニアの数字）	⑤			○
(6)	3章 数学の発展と人間の活動（2節 図形と人間）	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	科学と人間生活	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

高等学校 科学と人間生活 （第一学習社）

学習目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第Ⅰ編 科学技術の発展	①	1･2	○	
(2)	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第1章 物質の科学	②	3･4	○	
(3)	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第2章 熱や光の科学	③	5･6		
(4)	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第3章 生命の科学	④	7･8		○
(5)	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第4章 地球や宇宙の科学	⑤	9･10		○
(6)	第Ⅲ編 これからの科学と人間生活	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	物理基礎	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
8	4		4

教科書・副教材等

改訂 新編物理基礎 （東京書籍）

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 直線運動の世界	①	1･2	○	
(2)	1編 2章 力と運動の法則	②	3･4	○	
(3)	1編 2章 力と運動の法則／3章 仕事とエネルギー	③	5･6		
(4)	1編 3章 仕事とエネルギー／2編 1章 熱	④	7･8		○
(5)	2編 2章 波	⑤	9･10		○
(6)	2編 3章 電気／4章 エネルギー	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	物理	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
16	9		7	

教科書・副教材等

改訂 物理 （東京書籍）

学習目標

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1編 1章 剛体にはたらく力のつり合い／2章 平面上の運動と放物運動	①	1･2	○	
(2)	第1編 3章 円運動と万有引力	②	3･4	○	
(3)	第1編 4章 単振動／5章 運動量	③	5･6	○	
(4)	第1編 6章 気体分子の運動と圧力	④	7･8		
(5)	第1編 7章 気体の状態変化	⑤	9･10		
(6)	第2編 1章 波の性質／2章 音	⑥	11･12		
(7)	第2編 3章 光	⑦	13･14		○
(8)	第3編 1章 電場と電位	⑧	15･16		○
(9)	第3編 2章 電流	⑨	17･18		○
(10)	第3編 3章 電流と磁場	⑩	19･20		
(11)	第3編 4章 電磁誘導と電磁波	⑪	21･22		
(12)	第4編 1章 電子と光／2章 原子と原子核	⑫	23･24		
(13)	振り子		25		
(14)	光・電解と電位・電流		26		
(15)	電流と磁界・電磁誘導と電磁波		27		

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	化学基礎	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

改訂 新編化学基礎 （東京書籍）

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 物質の成分と構成元素	①	1･2	○	
(2)	1編 2章 原子の構造と元素の周期表	②	3･4	○	
(3)	1編 3章 化学結合	③	5･6		
(4)	2編 1章 物質量と化学反応式	④	7･8		○
(5)	2編 2章 酸と塩基	⑤	9･10		○
(6)	2編 3章 酸化還元反応	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	化学	4	12	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
16	9		7

教科書・副教材等

改訂 新編化学 （東京書籍）

学習目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 物質の状態／2章 気体の性質	①	1･2	○	
(2)	1編 3章 溶液の性質／4章 化学結合と固体の構造	②	3･4	○	
(3)	2編 1章 化学反応と熱・光	③	5･6	○	
(4)	2編 2章 電池と電気分解	④	7･8		
(5)	3編 1章 化学反応の速さ	⑤	9･10		
(6)	3編 2章 化学平衡／3章 水溶液中の化学平衡	⑥	11･12		
(7)	4編 1章 周期表と元素／2章 非金属元素の単体と化合物	⑦	13･14		○
(8)	4編 3章 典型金属元素の単体と化合物	⑧	15･16		○
(9)	4編 4章 遷移元素の単体と化合物／5章 無機物質と人間生活	⑨	17･18		○
(10)	5編 1章 有機化合物の特徴と構造／2章 炭化水素／3章 アルコールと関連化合物	⑩	19･20		
(11)	5編 4章 芳香族化合物／5章 有機化合物と人間生活	⑪	21･22		
(12)	6編 1章 天然高分子化合物／2章 合成高分子化合物／3章 高分子化合物と人間生活	⑫	23･24		
(13)	気体の性質		25		
(14)	化学反応の速さ		26		
(15)	有機化合物の命名法		27		

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	生物基礎	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

改訂 新編生物基礎 （東京書籍）

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 生物の多様性と共通性／2章 生命活動とエネルギー	①	1･2	○	
(2)	2編 1章 生物と遺伝子／2章 遺伝情報の分配／3章 遺伝情報とタンパク質の合成	②	3･4	○	
(3)	3編 1章 体内環境の維持	③	5･6		
(4)	3編 2章 体内環境を保つしくみ／3章 体内環境を守るしくみ	④	7･8		○
(5)	4編 1章 植生の多様性と生態系／2章 バイオームとその分布	⑤	9･10		○
(6)	4編 2章 バイオームとその分布／3章 生態系とその保全	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	生物	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
16	9		7	

教科書・副教材等

改訂 生物（東京書籍）

学習目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 生体物質と細胞／2章 タンパク質の構造と酵素／3章 細胞間の相互作用とタンパク質	①	1･2	○	
(2)	1編 4章 代謝とエネルギー	②	3･4	○	
(3)	2編 1章 DNAの構造と複製／2章 遺伝情報の発現	③	5･6	○	
(4)	2編 3章 遺伝子の発現調節／4章 バイオテクノロジー	④	7･8		
(5)	3編 1章 生物の有性生殖／2章 動物の発生	⑤	9･10		
(6)	3編 3章 動物の発生のしくみ／4章 植物の発生	⑥	11･12		
(7)	4編 1章 動物の刺激の受容と反応	⑦	13･14		○
(8)	4編 2章 動物の行動／3章 植物の環境応答	⑧	15･16		○
(9)	5編 1章 生物の多様性と生態学／2章 個体群と生物群集	⑨	17･18		○
(10)	5編 3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ／4章 生態系と生物多様性	⑩	19･20		
(11)	6編 1章 生命の起源と生物の変遷	⑪	21･22		
(12)	6編 2章 進化のしくみ／3章 生物の系統	⑫	23･24		
(13)	タンパク質とDNA		25		
(14)	発生のしくみ		26		
(15)	生物多様性		27		

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理科	地学基礎	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

改訂 地学基礎 （東京書籍）

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1編 1章 宇宙の構造と進化／2章 太陽と惑星	①	1･2	○	
(2)	2編 1章 地層や岩石の観察／2章 生命の変遷	②	3･4	○	
(3)	3編 1章 大地とその動き／2章 地震	③	5･6		
(4)	3編 3章 火山	④	7･8		○
(5)	4編 1章 大気と海洋／2章 日本の自然の恵みと防災	⑤	9･10		○
(6)	終1章／終2章／終3章	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育	体育Ⅰ	2	2	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
10	6		4	

教科書・副教材等

現代高等保健体育改訂版（大修館書店）

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	体つくり運動		1・2		
(2)	運動・スポーツの文化的特徴①	①	3・4	○	
(3)	器械運動		5・6		
(4)	陸上競技		7・8		
(5)	運動・スポーツの文化的特徴②	②	9・10		○
(6)	バレーボール		11・12		
(7)	バスケットボール		13・14		
(8)	柔道		15・16		
(9)	スキー		17・18		
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育	体育Ⅱ	2	2	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
10	6		4	

教科書・副教材等

現代高等保健体育改訂版（大修館書店）

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	体つくり運動		1･2		
(2)	運動・スポーツの学び方①	①	3･4	○	
(3)	器械体操（跳び箱）		5･6		
(4)	ハードル		7･8		
(5)	運動・スポーツの学び方②	②	9･10		○
(6)	野球		11･12		
(7)	サッカー		13･14		
(8)	ダンス		15･16		
(9)	剣道		17･18		
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育	体育Ⅲ	3	3	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
15	9		6	

教科書・副教材等

現代高等保健体育改訂版（大修館書店）

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	ダンス		1・2		
(2)	運動・スポーツの学び方	①	3・4	○	
(3)	陸上競技（走り幅跳び・走り高跳び）		5・6		
(4)	卓球		7・8		
(5)	ハンドボール		9・10		
(6)	空手道		11・12		
(7)	パークゴルフ		13・14		
(8)	水泳（クロール・平泳ぎ）		15・16		
(9)	豊かなスポーツライフの設計①	②	17・18		○
(10)	器械運動（鉄棒）		19・20		
(11)	豊かなスポーツライフの設計②	③	21・22		○
(12)	ソフトボール		23・24		
(13)	相撲		25・26		
(14)	体つくり運動（バランスボール）		27		
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育	保健Ⅰ	1	3	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
1	0		1	

教科書・副教材等

現代高等保健体育改訂版（大修館書店）

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	現代社会と健康①	①	1・2	○	
(2)	現代社会と健康②	②	3・4		○
(3)	現代社会と健康③	③	5・6		○
(4)					
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育	保健Ⅱ	1	3	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
1	0		1	

教科書・副教材等

現代高等保健体育改訂版（大修館書店）

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	生涯を通じる健康①	①	1・2	○	
(2)	生涯を通じる健康②	②	3・4		○
(3)	社会生活と健康	③	5・6		○
(4)					
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
芸術	美術Ⅰ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

美術Ⅰ （光村図書出版）

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	絵画・彫刻	①②	1～4	○	
(2)	デザイン①	③	5・6		
(3)	デザイン②	④	7・8		○
(4)	映像メディア表現	⑤	9・10		○
(5)	資料	⑥	11・12		
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
芸術	書道Ⅰ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

書道Ⅰ （東京書籍）

学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	書写から書道へ	①	1･2	○	
(2)	漢字の書（楷書）	②	3･4	○	
(3)	漢字の書（行書）	③	5･6		
(4)	漢字の書（草書・隷書・篆書）	④	7･8		○
(5)	仮名の書	⑤	9･10		○
(6)	漢字仮名交じりの書	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	9	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
12	7		5	

教科書・副教材等

All Aboard! English Communication Ⅰ（東京書籍）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Warm-Up／Pre-Lesson／Lesson 1	①	1･2	○	
(2)	Lesson 2	②	3･4	○	
(3)	Lesson 3～4	③	5･6		
(4)	Lesson 5／Reading 1	④	7･8		
(5)	Lesson 6～7	⑤	9･10		○
(6)	Lesson 8	⑥	11･12		○
(7)	Lesson 9～10	⑦	13･14		
(8)	Reading 2	⑧	15･16		
(9)	Lesson 1～Reading 2 総復習	⑨	17･18		
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
16	9		7	

教科書・副教材等

All Aboard! Communication English Ⅱ （東京書籍）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1	①	1･2	○	
(2)	Lesson 2	②	3･4	○	
(3)	Lesson 3	③	5･6	○	
(4)	Lesson 4	④	7･8		
(5)	Lesson 5	⑤	9･10		
(6)	Lesson 6	⑥	11･12		
(7)	Lesson 7	⑦	13･14		○
(8)	Lesson 8	⑧	15･16		○
(9)	Lesson 9	⑨	17･18		○
(10)	Lesson 10	⑩	19･20		
(11)	Lesson 11	⑪	21･22		
(12)	Lesson 12	⑫	23･24		
(13)	Reading 2 Olivia		25～27		
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
16	9		7	

教科書・副教材等

All Aboard! Communication English Ⅲ（東京書籍）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1	①	1･2	○	
(2)	Lesson 2	②	3･4	○	
(3)	Lesson 3	③	5･6	○	
(4)	All Aboard! Communication English Ⅲ P12 , 20 , 28～31	④	7･8		
(5)	Lesson 4	⑤	9･10		
(6)	Lesson 5	⑥	11･12		
(7)	Lesson 6	⑦	13･14		○
(8)	All Aboard! Communication English Ⅲ P49～52 , 62～64	⑧	15･16		○
(9)	Lesson 7	⑨	17･18		○
(10)	Reading 1	⑩	19･20		
(11)	Reading 2	⑪⑫	21～24		
(12)	英語での電話応対のしかた		25		
(13)	Essay Writing		26		
(14)	Presentation Challenge		27		
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
外国語	英語表現Ⅰ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

Vivid English Expression Ⅰ NEW EDITION（第一学習社）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1～5	①	1･2	○	
(2)	Lesson 6～10	②	3･4	○	
(3)	Lesson 11～14	③	5･6		
(4)	Lesson 15～18	④	7･8		○
(5)	Lesson 19～22	⑤	9･10		○
(6)	文法の整理 1～13	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
外国語	英語表現Ⅱ	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
16	9		7	

教科書・副教材等

Vivid English Expression Ⅱ NEW EDITION（第一学習社）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1・2・3	①	1・2	○	
(2)	Lesson 3・4・24	②	3・4	○	
(3)	Lesson 5・6・25	③	5・6	○	
(4)	Lesson 7～9・26	④	7・8		
(5)	Lesson 10・11・27	⑤	9・10		
(6)	Lesson 12～14・28	⑥	11・12		
(7)	Lesson 15・16・29	⑦	13・14		○
(8)	Lesson 17・18・30	⑧	15・16		○
(9)	Lesson 19・20・31	⑨	17・18		○
(10)	Lesson 21・22・32	⑩	19・20		
(11)	Lesson 33・34／文法の整理1～13	⑪	21・22		
(12)	Lesson 35～37／文法の整理14～21	⑫	23・24		
(13)	Lesson 38 Making a Speech		25		
(14)	Lesson 39 Having a Debate		26		
(15)	Lesson 40 Having a Discussion		27		

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	家庭基礎	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4	2		2

教科書・副教材等

家庭基礎　自立・共生・創造 （東京書籍）

学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 自分らしい人生を作る／第2章 子どもと共に育つ	①	1･2	○	
(2)	第3章 高齢社会を生きる／第4章 共に生き、共に支える	②	3･4	○	
(3)	第5章 食生活をつくる	③	5･6		
(4)	第6章 衣生活をつくる	④	7･8		○
(5)	第7章 住生活をつくる	⑤	9･10		○
(6)	第8章 経済生活を営む／第9章 生活を設計する	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	家庭総合	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

家庭総合　自立・共生・創造 （東京書籍）

学習目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 自分らしい人生をつくる	①	1･2	○	
(2)	第2章 子どもと共に育つ	②	3･4	○	
(3)	第3章 高齢社会を生きる	③	5･6	○	
(4)	第4章 共に生き、共に支える	④	7･8		
(5)	第5章 経済生活を営む①～③	⑤	9･10		
(6)	第5章 経済生活を営む④～⑥	⑥	11･12		
(7)	第6章 食生活をつくる①～③	⑦	13･14		○
(8)	第6章 食生活をつくる④～⑦	⑧	15･16		○
(9)	第7章 衣生活をつくる①～③	⑨	17･18		○
(10)	第7章 衣生活をつくる④～⑥	⑩	19･20		
(11)	第8章 住生活をつくる①②	⑪	21･22		
(12)	第8章 住生活をつくる③④／第9章 生活を設計する	⑫	23･24		
(13)	その他の食品		25		
(14)	言葉の獲得		2627		
(15)	被服による健康障害				

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	社会と情報	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

高等学校 改訂版 社会と情報 （第一学習社）

学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 1節 情報とその活用	①	1･2	○	
(2)	第1章 2節 情報の表現	②	3･4	○	
(3)	第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション	③	5･6		
(4)	第3章 1節 情報システム／2節 情報社会の法と個人の責任	④	7･8		○
(5)	第3章 3節 情報社会と安全性／第4章 1節 情報化の光と影／2節 情報技術と人間	⑤	9･10		○
(6)	第4章 3節 問題とその解決／第5章 総合実習	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報の科学	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

情報の科学 （東京書籍）

学習目標

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 1節 コンピュータ	①	1･2	○	
(2)	1章 1節 コンピュータ／2節 情報通信ネットワーク	②	3･4	○	
(3)	1章 3節 データベース／2章 1節 基本的な考え方と手順	③	5･6		
(4)	2章 2節 モデル化とシミュレーション／3節 処理手順の明確化と自動化	④	7･8		○
(5)	3章 1節 社会の情報化と人との関わり／2節 情報社会の安全	⑤	9･10		○
(6)	3章 2節 情報社会の安全／3節 これからの社会と情報モラル	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	ビジネス基礎	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

ビジネス基礎　新訂版(実教出版)

学習目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 商業の学習ガイダンス	①	1・2	○	
(2)	第2章 経済と流通の基礎	②	3・4	○	
(3)	第3章 ビジネスの担い手	③	5・6		
(4)	第4章 企業活動の基礎	④	7・8		○
(5)	第5章 ビジネスと売買取引／第6章 売買に関する計算	⑤	9・10		○
(6)	第7章 ビジネスとコミュニケーション	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	ビジネス実務	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

ビジネス実務　新訂版(東京法令出版)

学習目標

ビジネス実務に関する知識と技術を習得させ、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化の重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 企業の組織と仕事／第2章 国際化とコミュニケーション／第3章 計算の基礎	①	1･2	○	
(2)	第1章 職業人としての心構え／第2章 国際化とコミュニケーション／第3章 珠算	②	3･4	○	
(3)	第1章 コミュニケーションとビジネスマナー／第2章 ビジネスの会話／第3章 珠算	③	5･6		
(4)	第1章 情報化とオフィス実務／第2章 ビジネスの会話／第3章 珠算	④	7･8		○
(5)	第1章 情報化とオフィス実務／第2章 ビジネスの文書／第3章 珠算	⑤	9･10		○
(6)	第1章 税の申告と納付／第2章 ビジネスの文書／第3章 暗算	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	マーケティング	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

マーケティング 新訂版（実教出版）

学習目標

マーケティングに関する知識と技術を習得させ、マーケティングの意義や役割について理解させるとともに、マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 現代市場とマーケティング	①	1・2	○	
(2)	第2章 市場調査	②	3・4	○	
(3)	第3章 消費者行動／第4章 販売計画	③	5・6		
(4)	第5章 製品計画／第6章 仕入れ計画と商品管理	④	7・8		○
(5)	第7章 販売価格／第8章 販売経路	⑤	9・10		○
(6)	第9章 販売促進	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	商品開発	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

商品開発 （実教出版）

学習目標

商品開発に関する知識と技術を習得させ、顧客満足を実現することの重要性について理解させるとともに、商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 商品と商品開発	①	1･2	○	
(2)	第2章 商品の企画	②	3･4	○	
(3)	第3章 商品の開発	③	5･6		
(4)	第4章 商品開発とデザイン	④	7･8		○
(5)	第5章 商品開発と知的財産権	⑤	9･10		○
(6)	第6章 商品流通と流通を支える活動	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	広告と販売促進	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

広告と販売促進 （実教出版）

学習目標

広告や販売促進などに関する知識と技術を習得させ、企業と消費者間のコミュニケーション活動の意義や役割について理解させるとともに、販売に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 販売促進	①	1･2	○	
(2)	第2章 広告	②	3･4	○	
(3)	第3章 広報	③	5･6		
(4)	第4章 店舗の立地と設計	④	7･8		○
(5)	第5章 販売員活動	⑤	9･10		○
(6)	第6章 時代に応じた販売促進	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	ビジネス経済	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

ビジネス経済 （実教出版）

学習目標

ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得させ、経済の仕組みや概念について理解させるとともに、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Introduction／第1章 市場と経済	①	1･2	○	
(2)	第2章 需要と供給	②	3･4	○	
(3)	第3章 価格決定と市場の役割	③	5･6		
(4)	第4章 経済成長と景気循環	④･⑤	7～10		○
(5)	第5章 経済政策	⑥	11･12		
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	経済活動と法	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

経済活動と法　新訂版（東京法令出版）

学習目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 法の意義と役割／第2章 権利・義務と財産権	①	1・2	○	
(2)	第3章 契約と債権（第1節・第2節）	②	3・4	○	
(3)	第3章 契約と債権（第3節）	③	5・6		
(4)	第3章 契約と債権（第4節～第6節）	④	7・8		○
(5)	第4章 会社に関する法	⑤	9・10		○
(6)	第5章 企業の責任と法／第6章 経済環境の変化と法	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	簿記	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

簿記　新訂版(東京法令出版)

学習目標

簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	簿記の基礎	①	1・2	○	
(2)	決算の基本と現金などの処理	②	3・4	○	
(3)	各種取引の処理(第2章～第5章)	③	5・6		
(4)	各種取引の処理(第6章～第10章)	④	7・8		○
(5)	決算の流れと会計帳簿	⑤	9・10		○
(6)	発展的な問題	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	情報処理	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

情報処理　新訂版（実教出版）

学習目標

ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 情報の活用と情報モラル（1節・2節）	①	1・2	○	
(2)	第1章 情報の活用と情報モラル（3節）	②	3・4	○	
(3)	第2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	③	5・6		
(4)	第3章 ビジネス情報の処理と分析	④	7・8		○
(5)	第4章 ビジネス文書の作成	⑤	9・10		○
(6)	第5章 プレゼンテーション	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
商業	ビジネス情報	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

ビジネス情報　新訂版(東京法令出版)

学習目標

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 オフィス業務と情報通信ネットワーク／第2章 第1節 ビジネス計算	①	1･2	○	
(2)	第2章 表計算ソフトウェアの活用	②	3･4	○	
(3)	第3章 第1節 ビジネスとデータベース／第2節 基本的なデータベースの作成	③	5･6		
(4)	第3章 第3節 発展的なデータベースの作成／第4節 SQL	④	7･8		○
(5)	第4章 第1節 アルゴリズム／第2節 表計算ソフトウェアの活用	⑤	9･10		○
(6)	第4章 第2節 表計算ソフトウェアの活用／第3節　システム開発	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	子どもの発達と保育A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

子どもの発達と保育（実教出版）

学習目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	子どもの発達と特性	①		○	
(2)	子どもの発育	②		○	
(3)	子どもの精神発達	③		○	
(4)	人間関係の発達	④			○
(5)	生活と養護①	⑤			○
(6)	生活と養護②、子どもの遊び	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	子ども文化A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

子ども文化（教育図書株式会社）

学習目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	子ども文化とは何だろう	①		○	
(2)	子どもと遊ぶ	②		○	
(3)	子どもと表現活動	③		○	
(4)	子どもと文学	④			○
(5)	現代の子供の生活と文化	⑤			○
(6)	子供文化を支える場	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	生活と福祉A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

生活と福祉（実教出版）

学習目標

高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	1章 1節 健康の概念	①		○	
(2)	1章 2節 ライフステージと健康管理	①		○	
(3)	2章 1節 高齢化の現状 ／ 2節 高齢者の心身の特徴と病気	②		○	
(4)	2章 3節 高齢者の生活課題と施策	②		○	
(5)	3章 1節 自立支援生活の基本となる考え方	③			
(6)	3章 2節 高齢者介護	③			
(7)	4章 1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ	④			○
(8)	4章 2節 介護保険制度 ／ 3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム	④			○
(9)	5章 1節 介護の実習	⑤			
(10)	5章 2節 看護の実習	⑤			
(11)	5章 3節 生活支援①	⑥			○
(12)	5章 3節 生活支援②	⑥			○
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	ファッションデザイン	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

ファッションデザイン （実教出版）

学習目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 ファッションデザインの意味	①	1･2	○	
(2)	第2章 ファッションデザインの基礎 第1節	②	3･4	○	
(3)	第2章 ファッションデザインの基礎 第2節・第4節	③	5･6		
(4)	第3章 ファッションデザインの発想と表現	④	7･8		○
(5)	第4章 ファッションデザインの目的と発想	⑤	9･10		○
(6)	第5章 ファッション産業	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	フードデザイン	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

フードデザイン（実教出版）

学習目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 食生活と健康	①	1・2	○	
(2)	第2章 栄養素のはたらきと食事計画①～④	②	3・4	○	
(3)	第2章 栄養素のはたらきと食事計画⑤～⑩	③	5・6		
(4)	第3章 食品の特徴・表示・安全①	④	7・8		○
(5)	第3章 食品の特徴・表示・安全②～④	⑤	9・10		○
(6)	第4章 調理の基本／第7章 食育	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
家庭	フードデザインA	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4			4

教科書・副教材等

フードデザイン 新訂版 （実教出版）

学習目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 食生活と健康	①		○	
(2)	第2章 栄養素のはたらきと食事計画①	②		○	
(3)	第2章 栄養素のはたらきと食事計画②	③			
(4)	第3章 食品の特徴・表示・安全①	④			○
(5)	第3章 食品の特徴・表示・安全②	⑤			○
(6)	第4章 調理の基本/第7章 食育	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報産業と社会	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

情報産業と社会（実教出版）

学習目標

情報産業と社会とのかかわりについての基礎的な知識と技術を習得させ、情報産業への興味・関心を高めるとともに、情報に関する広い視野を養い、情報産業の発展に寄与する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 情報化と社会	①	1･2	○	
(2)	第2章 情報産業と情報モラル(1)	②	3･4	○	
(3)	第2章 情報産業と情報モラル(2)	③	5･6		
(4)	第3章 情報産業と情報技術(1)	④	7･8		○
(5)	第3章 情報産業と情報技術(2)	⑤	9･10		○
(6)	第3章 情報産業と情報技術(3)	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	課題研究(情報)A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

情報と問題解決(実教出版)

学習目標

情報に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	問題解決の概要	①		○	
(2)	問題の発見と解決	②		○	
(3)	問題解決のための最適化技法	③		○	
(4)	コンピュータシミュレーションによる問題解決	④			○
(5)	問題解決の過程と結果の評価	⑤			○
(6)	問題解決の事例	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報の表現と管理	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

情報の表現と管理 （実教出版）

学習目標

情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 情報活用とメディア／第2章 情報の表現(1)	①	1･2	○	
(2)	第2章 情報の表現(2)	②	3･4	○	
(3)	第2章 情報の表現(3)	③	5･6		
(4)	第2章 情報の表現(4)	④	7･8		○
(5)	第2章 情報の表現(5)	⑤	9･10		○
(6)	第3章 情報の管理	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報テクノロジーC	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

作りながら学ぶ HTML/CSSデザインの教科書 （SBCreative）

学習目標

情報産業を支える情報テクノロジーの基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	CHAPTER7 各ページを作成する(1)	①		○	
(2)	CHAPTER7 各ページを作成する(2)	②		○	
(3)	CHAPTER8 サイトに動きをつける(1)	③		○	
(4)	CHAPTER8 サイトに動きをつける(2)	④			○
(5)	CHAPTER9 サイトの公開と仕上げ(1)	⑤			○
(6)	CHAPTER9 サイトの公開と仕上げ(2)	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報メディア	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

情報メディア（実教出版）

学習目標

情報メディアに関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 1節 メディアの定義と機能	①	1・2	○	
(2)	第1章 2節 メディアの種類と特性	②	3・4	○	
(3)	第2章 1節 情報メディアの種類と特性	③	5・6		
(4)	第2章 1節 情報メディアの種類と特性／2節 REPORT制作現場	④	7・8		○
(5)	第2章 3節 情報メディアの活用／第3章 1節 情報メディアが社会に及ぼす影響	⑤	9・10		○
(6)	第3章 1節 情報メディアが社会に及ぼす影響／2節 情報メディアと情報産業	⑥	11・12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	情報コンテンツ実習B	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

スッキリわかるJava入門 第2版（インプレス）

学習目標

情報コンテンツの開発に関する知識と技術を実際の作業を通して習得させ、総合的に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第7章 オブジェクト指向をはじめよう	①		○	
(2)	第8章 インスタンスとクラス	②		○	
(3)	第9章 様々なクラス機構	③		○	
(4)	第10章 継承	④			○
(5)	第11章 高度な継承	⑤			○
(6)	第12章 多態性	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	メディアミックス応用A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

ビジュアルアイディア発想フレームワーク(日本経済新聞出版社)

学習目標

情報に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	調査, 研究, 実験／情報収集のフレームワーク	①		○	
(2)	調査, 研究, 実験／自由発想のフレームワーク	②		○	
(3)	調査, 研究, 実験／視点転換のフレームワーク	③		○	
(4)	調査, 研究, 実験／発想支援のフレームワーク	④			○
(5)	調査, 研究, 実験／試作検証のフレームワーク	⑤			○
(6)	調査, 研究, 実験／評価決定のフレームワーク	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	プログラム理論B	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

C#の絵本 第2版 C#が楽しくなる新しい9つの扉 （翔泳社）

学習目標

情報産業を支えるプログラミングの知識と技術に関し、C#での応用技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	クラスの応用 / インターフェース	①		○	
(2)	クラスの応用 / オブジェクト・名前空間	②		○	
(3)	ファイルとストリーム/ストリーム・例外	③		○	
(4)	ファイルとストリーム/文字の読み込み・文字の書き出し	④			○
(5)	文字式の応用/書式指定子	⑤			○
(6)	文字式の応用/正規表現	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	プログラム制御C	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

First Stageシリーズ メカトロニクス入門(実教出版)

学習目標

情報システムの開発に関する知識と技術を実際の作業を通して習得させ、総合的に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	シーケンス制御の基礎①	①		○	
(2)	シーケンス制御の基礎②	②		○	
(3)	コンピュータ制御の基礎①	③		○	
(4)	コンピュータ制御の基礎②	④			○
(5)	コンピュータ制御の基礎③	⑤			○
(6)	コンピュータ制御の基礎④	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
情報	eスポーツC	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

チームを成長させる問題解決のコツ(リベラル社)

学習目標

チームビルディングにおいて起こり得る、様々な問題に対して前向きに取り組み、問題解決の基礎的な考え方、知識を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	問題で、自分を成長させよう①	①		○	
(2)	問題で、自分を成長させよう②	②		○	
(3)	ミスを通して、仕組みを作ろう。	③			
(4)	「誰が、いつまでに、何を」を指示しよう。	④			○
(5)	問題を通して、チームを強くしよう。①	⑤			○
(6)	問題を通して、チームを強くしよう。②	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
福祉	社会福祉基礎A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

社会福祉基礎（実教出版）

学習目標

社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	社会福祉の理念と意義・社会福祉の歴史と福祉社会の課題	①②		○	
(2)	生活を支える社会福祉・社会保障制度①	③		○	
(3)	生活を支える社会福祉・社会保障制度②・人間関係とコミュニケーション	④⑤			○
(4)	地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	⑥			○
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
福祉	コミュニケーション技術A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

コミュニケーション技術（実教出版）

学習目標

コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得させ、介護福祉援助活動で活用する能力と態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1編 第1章 コミュニケーションの意義と役割	①		○	
(2)	第1編 第2章 コミュニケーションの基本技術 ／ 第3章 援助の技法とコミュニケーション	②		○	
(3)	第2編 第1章 サービス利用者や家族との関係づくり	③			
(4)	第2編 第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション①	④			○
(5)	第2編 第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション②	⑤			○
(6)	第3編 介護におけるチームのコミュニケーション	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理数	課題研究(理数)A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

思考のチカラをつくる本(三笠書房)

学習目標

科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	「新しいこと」を考える思考法①	①		○	
(2)	「新しいこと」を考える思考法②	②		○	
(3)	論理的に考える「思考のプロセス」①	③			
(4)	論理的に考える「思考のプロセス」②	④			○
(5)	すべての「考え」は「言葉」から生まれる	⑤			○
(6)	考えにいきづまったとき、どうするか？	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理数	海洋学A	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4			4

教科書・副教材等

生物海洋学入門 第2版(講談社)

学習目標

科学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の獲得、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	海洋の構造と非生物的環境	①		○	
(2)	浮遊生物	②		○	
(3)	遊泳生物	③		○	○
(4)	底生生物	④			○
(5)	魚類の化学感覚器	⑤			○
(6)	海洋汚染	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
理数	ロボット数学Ⅱ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

クラーク記念国際高等学校オリジナル教材

学習目標

ロボット数学Ⅰの学びを土台とし、数学Ⅱ・A・Bの内容に関連しながら、数学を学ぶ意味や目的、また数学の有用性について、ロボットを目的に合わせて動かすための数学的思考やそのプログラミングを通して学ばせる。また、数学と理科の横断的な学びや、アクティブラーニングを通して主体的・対話的で深い学びも実践する。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	「ロボットの角度と距離による移動」を通して「三角関数」を学ぶ	①		○	
(2)	「ロボットの円形ゴールへの到達」を通して「円の方程式と 円の接線」を学ぶ	②		○	
(3)	「桁数の大きな数を上手に使うには」を通して「指数関数と対数関数」を学ぶ	③			○
(4)	「速度・加速度に注意して滑らかに物を運ぶには」を通して「微分法と積分法」を学ぶ	④			○
(5)	「ロボットをベクトルで動かす」を通して「 ベクトル 」を学ぶ	⑤			○
(6)	「数列を使用してロボットの動きを計算してみよう」を通して「数列」を学ぶ	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
体育	スポーツ概論B	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4			4

教科書・副教材等

現代高等保健体育 改訂版(大修館 保体304)

学習目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	スポーツの効果的な学習の仕方Ⅱ	①		○	
(2)	スポーツの指導法と安全	②		○	
(3)	豊かなスポーツライフの設計	③			
(4)	スポーツの運営及び管理	④			○
(5)	スポーツの効果的な学習の仕方Ⅲ	⑤			○
(6)	豊かなスポーツライフの設計とスポーツの運営及び管理	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
体育	スポーツⅥ-A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

現代高等保健体育 改訂版(大修館 保体304)

学習目標

体つくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	体つくり運動の理解と実践Ⅰ	①		○	
(2)	体つくり運動の理解と実践Ⅱ	②		○	
(3)	目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践	③			
(4)	目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践	④			○
(5)	ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践	⑤			○
(6)	ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
体育	スポーツ総合演習A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）

学習目標

スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通した豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究Ⅰ	①		○	
(2)	スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究Ⅱ	②		○	
(3)	スポーツの知識や実践に関する課題研究Ⅰ	③			
(4)	スポーツの知識や実践に関する課題研究Ⅱ	④			○
(5)	スポーツの知識や実践に関する課題研究Ⅲ	⑤			○
(6)	スポーツの知識や実践に関する課題研究Ⅳ	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
体育	ダンスC	4	12	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
8			8

教科書・副教材等

ダンサーなら知っておきたい「からだ」のこと（大修館書店）

学習目標

からだのつくり・仕組みを理解し、ダンサーとして美しくより長く踊り続けるためのからだづくりを行ったうえで、「運動」としてのダンスおよび「芸術」としてのダンスを理解・追求する。
　以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	知っておきたい「骨」「筋肉と骨の関係」	①		○	
(2)	知っておきたい「筋肉の収縮と弛緩」「関節」	②		○	
(3)	知っておきたい「脊柱と脊柱に関わる筋肉」「股関節と骨盤まわりの筋肉」「膝関節とまわりの筋肉」	③		○	
(4)	知っておきたい「足関節と足の筋肉」「上肢の骨と筋肉」「頸と頭の骨と筋肉」	④		○	
(5)	知っておきたい「基本姿勢」「股関節の動きとダンス」「バレエのつま先立ち」「ダンスのスクワット動作」	⑤		○	
(6)	知っておきたい「有名なポーズ アラベスク」「脚を高くあげる技」「回転の成り立ち」「美しい足先」	⑥		○	
(7)	知っておきたい「腕の動き」「重心移動のテクニック」「足裏の役割」「開脚ジャンプの秘訣」	⑦			○
(8)	知っておきたい「着地のコツ」「目と動きの関係」「利き足」「からだの左右差」「ダンスの動きと音楽」	⑧			○
(9)	知っておきたい「空間認知」「社交ダンスの動きとからだ」「スパニッシュダンスの動きとからだ」「ハワイアンダンスの動きとからだ」「日本舞踊の動きとからだ」	⑨			○
(10)	知っておきたい「エネルギー消費量」「体力」「筋力」「筋持久力」	⑩			○
(11)	知っておきたい「ダンサーのからだの中身」「柔軟性」「関節の緩さ」	⑪			○
(12)	知っておきたい「疲労」「栄養摂取」「呼吸法」「バランス」	⑫			○
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
音楽	音声表現C	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

人生を変える勝ち声・負け声（Ritter Music）

学習目標

音楽作品や作曲家、演奏などについての鑑賞研究を通して、音楽に対する理解を深め、音楽や音楽文化を尊重する態度を養い、批評する能力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.12～30	①		○	
(2)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.26～43	②		○	
(3)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.52～69	③		○	
(4)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.70～91	④			○
(5)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.92～123	⑤			○
(6)	単元：人生を変える勝ち声・負け声 p.124～157	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
音楽	演技歌唱C	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

中学生・高校生のための劇作り9か条(晩成書房)

学習目標

発声や身体表現に関する専門的な学習を通して、音楽・演劇の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.8～21	①		○	
(2)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.22～36	②		○	
(3)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.37～44	③		○	
(4)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.45～52	④			○
(5)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.53～60	⑤			○
(6)	単元:「中学生・高校生のための劇作り9か条」 P.61～76	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
美術	美術史A	4	12	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
8			8

教科書・副教材等

改訂版 西洋・日本美術史の基本(美術出版社)

学習目標

美術の変遷の学習を通して、文化遺産や美術文化についての理解を深め、伝統と文化を尊重する態度と新たな美術文化を創造していく基礎となる能力を高める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	①原始・古代の美術 (p48−55)	①		○	
(2)	②中世美術 (p56−61)	②		○	
(3)	③ルネサンス美術 (p62−67)	③		○	
(4)	④バロック・ロココ美術 (p68−73)	④		○	
(5)	⑤近代美術 (p74−81)	⑤		○	
(6)	⑤近代美術 (p82−91)	⑥		○	
(7)	⑥20世紀と現代美術 (p92−100)	⑦			
(8)	⑥20世紀と現代美術 (p104−110)	⑧			
(9)	①先史・古墳時代の美術 ②古代美術 (p172−189)	⑨			○
(10)	③中世美術 (p190−199)	⑩			○
(11)	④近世美術 (p200−211)	⑪			○
(12)	⑤近代と美術 (p200−230)	⑫			
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
美術	素描C	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4			4

教科書・副教材等

スーパー鉛筆デッサン(グラフィック社)

学習目標

対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。また、表現と鑑賞の能力も高める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	デッサンからカラー表現へ④水彩 手	①		○	
(2)	デッサンからカラー表現へ⑤水彩 人物	②		○	
(3)	デッサンからカラー表現へ⑥水彩 風景	③		○	
(4)	デッサン 鉛筆 平面構成① アクリル絵の具	④			○
(5)	デッサン 鉛筆 平面構成② アクリル絵の具	⑤			○
(6)	デッサン 鉛筆 平面構成③ アクリル絵の具	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
美術	鑑賞研究(美術)A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

人を描くのって楽しいね！(マンガのための人物デッサン)(廣済堂マンガ工房)

学習目標

文化財や美術作品、作家などについての鑑賞研究を通して、美術に対する理解を深め、美術や美術文化を尊重する態度を養い、批評する力を育てる。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	デッサン基礎	①		○	
(2)	人体のポーズ	②		○	
(3)	色々な人物の描き方	③		○	
(4)	様々な人物の描き方	④			○
(5)	頭部の描き方	⑤			○
(6)	手足の描き方	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
美術	イラスト応用A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

クリエイターのための権利の本(ボーンデジタル)

学習目標

いろいろな表現形式による絵画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	クリエイターが権利について知っておくべき理由	①		○	
(2)	写真・イラスト・デザイン	②		○	
(3)	文章・コピー	③		○	
(4)	プログラムコード・ライセンス	④			○
(5)	契約・権利の所在	⑤			○
(6)	トラブル発生時の対処・デジタルにおける著作権の考え方	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
美術	マンガ応用A	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

マンガのしくみ(ボーンデジタル)

学習目標

マンガ作品や作家などについてマンガのしくみを通して、マンガに対する理解を深める。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	マンガの道具	①		○	
(2)	人物を描く	②		○	
(3)	背景を描く	③		○	
(4)	原稿を描く	④			○
(5)	デジタルで描く	⑤			○
(6)	マンガ業界のしくみ	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
英語	総合英語Ⅲ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

Tactics for Listening : Basic（Oxford University Press）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を一層伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Unit 1, Unit 2, Unit 3	①		○	
(2)	Unit4, Unit 5	②		○	
(3)	Unit 6, Unit 7	③		○	
(4)	Unit 8, Unit 9, Unit 10	④			○
(5)	Unit 11, Unit 12, Unit 13	⑤			○
(6)	Unit 14, Unit 15	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
英語	総合英語C	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

Tactics for Listening : Basic（Oxford University Press）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を一層伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Unit 1, Unit 2, Unit 3	①		○	
(2)	Unit4, Unit 5	②		○	
(3)	Unit 6, Unit 7	③		○	
(4)	Unit 8, Unit 9, Unit 10	④			○
(5)	Unit 11, Unit 12, Unit 13	⑤			○
(6)	Unit 14, Unit 15	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
英語	英語理解	4	12	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
8	4		4	

教科書・副教材等

Viva! English communicationⅡ （第一学習社）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解し自らの考えを深める能力を一層伸ばす。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1	①	1･2	○	
(2)	Lesson 2	②	3･4	○	
(3)	Lesson 3	③	5･6	○	
(4)	Lesson 4	④	7･8		
(5)	Lesson 5	⑤	9･10		
(6)	Lesson 6	⑥	11･12		
(7)	Lesson 7	⑦	13･14		○
(8)	Lesson 8	⑧	15･16		○
(9)	Lesson 9	⑨	17･18		○
(10)	Lesson 10	⑩	19･20		
(11)	Reading	⑪	21･22		
(12)	Further Reading	⑫	23･24		
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
英語	英語表現C	2	6	2

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
4			4

教科書・副教材等

Get Ahead3（Oxford）

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Unit 1: The look ＆ Unit 2: Characters	①		○	
(2)	Unit 3: Places ＆ Unit 4: Being human	②		○	
(3)	Unit 5: Friends together ＆ Unit 6: Right or wrong?	③			
(4)	Unit 7: Get to work! ＆ Unit 8: Fragile Earth	④			○
(5)	Unit 9: Money, money, money ＆ Unit 10: On the menu	⑤			○
(6)	Unit 11: Invention ＆ Unit 12: Communicate	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
英語	異文化理解	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4	2		2	

教科書・副教材等

Hello there! English Conversation（東京書籍）

学習目標

英語を通じて、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	Lesson 1	①	1･2	○	
(2)	Lesson 2	②	3･4	○	
(3)	Lesson 3／Lesson 4	③	5･6		
(4)	Lesson 5／Lesson 6	④	7･8		○
(5)	Lesson 7／Lesson 8	⑤	9･10		○
(6)	Lesson 9／Lesson 10	⑥	11･12		
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導（スクーリング）】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
　クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、「講座視聴（含：チェックテスト）」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
　尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導（スクーリング）】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴（含：チェックテスト）」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
総合	ピアアシスタントⅡ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

ピアアシスタント〈専門課程〉(公益財団法人こども教育支援財団)

学習目標

仲間を支援する知識や技術を、グループワークを通して習得する。学校生活においても相談者として行動ができ、社会に出てからも、周囲と調和できる力を身に付ける。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 基礎課程の振り返り①	①		○	
(2)	第1章 基礎課程の振り返り②	②		○	
(3)	第2章 ピアアシスタントとして活動するために①	③			
(4)	第2章 ピアアシスタントとして活動するために②	④			○
(5)	第2章 ピアアシスタントとして活動するために③	⑤			○
(6)	第2章 ピアアシスタントとして活動するために④	⑥			
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【2023年度】年間指導計画①

教 科	科 目	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
総合	ピアアシスタントⅢ	2	6	2

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
4			4	

教科書・副教材等

ピアアシスタント〈専門課程〉(公益財団法人こども教育支援財団)

学習目標

ピアアシスタントⅠ・Ⅱで習得した知識と技術を発揮し、具体的な援助計画を作成し活動を行うことができるようにするとともに、援助活動に必要な基本的知識の再確認をしながら実践を行う。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導(報告課題)」「面接指導」を中心に学習を行い、その学習範囲について前・後期に定期試験を実施する。

【添削指導(報告課題)】

	学習の内容・範囲	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
				前期	後期
(1)	第1章 専門課程の振り返り①(専門課程テキスト)	①		○	
(2)	第1章 専門課程の振り返り②(専門課程テキスト)	②		○	
(3)	第3章 PDCAサイクルの確認・実習計画準備(専門課程テキスト)	③			
(4)	第3章 実習活動計画書の書き方・実習記録の書き方(専門課程テキスト)	④			○
(5)	第3章 実習の振り返り・お礼状・評価(専門課程テキスト)	⑤			○
(6)	ピアアシスタントの総まとめ(基礎課程・専門課程テキスト)	⑥			○
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					
(13)					
(14)					
(15)					

【面接指導(スクーリング)】

指 導 内 容

添削指導等を通して明らかとなった個々の生徒のもつ学習上の課題を十分考慮しながら、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識について指導したり、個々の生徒のもつ学習上の課題について十分考慮しその後の自宅学習への示唆を与えたりするなど、計画的、体系的に指導する。

学 習 方 法

【添削指導(報告課題)】
・教科書の要点を中心にまとめられた報告課題を各回の提出期限内に取り組ませる。
クラークWebキャンパス「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、「講座視聴(含:チェックテスト)」を終えた上で、報告課題を作成させる。
・各回の添削指導後も、必要に応じて質問メール対応や対面形式等にてフィードバックや補完学習に努め、生徒の学習理解の向上に努める。
尚、在宅生に関しては添削センターからの添削指導もある為、それらの結果も効果的に活用する。

【面接指導(スクーリング)】
・学習の仕方を教えるとともに学習の契機を与え、自宅での学習に役立つことに主眼をおいた指導を行う。
・添削指導の結果等も踏まえながら、生徒のつまずきやすい内容等を指導し、基礎・基本の知識・技能の理解および定着に努める。
・上記に加え、これらを活用した思考・判断・表現等の能力の育成や主体的に他者と協働する態度の育成に努める。
・クラークWebキャンパスの「報告課題サポート」内に「講座視聴(含:チェックテスト)」が登録されている科目は、年間を通じてその学習を全て完了させるよう、計画的且つ継続的に学習が完了できるように指導を行う。なお、講座視聴については該当報告課題の提出日までに視聴を完了させるよう指導する。

【定期試験】
・報告課題で取り上げた内容を中心に、前期に1回、後期に1回、計2回実施する。

評 価 方 法

添削指導、面接指導および定期試験、以上3つを基に、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」および「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価を行う。

【 2023年度 】年間指導計画

総合的な探究の時間	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
総合学習Ⅰ	1	1	

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
2			2

教科書・副教材等

なし

学習目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して，自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに，学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的，協同的に取り組む態度を育て，自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行う。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題
(1)	大学入試について知る	①
(2)		
(3)		

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
・添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや添削指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導（スクーリング）】
・自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
・教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

評 価 方 法

添削指導、面接指導を基に、満足できる成果があったかどうかを適切に判断し、評価する。

【 2023年度 】年間指導計画

総合的な探究の時間	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
キャリア学習Ⅰ	1	1	

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
2			2

教科書・副教材等

なし

学習目標

大学入試改革や情報化社会となる今に必要な社会人基礎力を身に付ける。グループワークやICT教材を用いて、主体性・多様性・協働性を育み、答えのない問いに対して仲間とコミュニケーションを取りながら考えることで、思考力・判断力を育む。さらに、プレゼンテーションを通して、自分自身の考えを表現する力をつけ、社会と6つのスキルを結び付けながら考えて行動する力を育む。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行う。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題
(1)	キャリア学習について	①
(2)		
(3)		

【面接指導（スクーリング）】

	学習範囲	主な指導内容	面接指導 月
①	キャリア教育について	これからの社会で必要とされる、6つのスキルについての概要とキャリア教育の重要性について理解させる。 グループワークを取り入れて、周りとの関わりなどについても学ぶ機会を作る。	
②	Three Slide Message	枚のスライドでメッセージを伝える方法を学び、自分ならどう作成するのか考える。 今後必要となるプレゼンテーションの仕方も学び、進路や社会で活かせる力を身につけさせる。	

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
・添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや添削指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導（スクーリング）】
・自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
・教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

評 価 方 法

添削指導、面接指導を基に、満足できる成果があったかどうかを適切に判断し、評価する。

【 2023年度 】年間指導計画

総合的な探究の時間	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
キャリア学習Ⅱ	1	1	

面 接 指 導			
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]
	[2]Web	[3]放送視聴	
2			2

教科書・副教材等

なし

学習目標

キャリア学習Ⅰで学んだ6つのスキルを活用して課題解決型の学習に取り組んでいく。グループワークでの学習を中心とし、主体性と協働性を身に着け、テーマに沿って、思考力・多様性・判断力・表現力を活用した授業を段階的に展開していく。日常生活の中での問題提起、そして課題解決のために情報を分析し、解決策の提案までを行うスキルを育むことで、生徒一人ひとりのキャリア形成を図る。
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体性・多様性・協働性」の伸長を図る。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行う。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題
(1)	キャリア学習Ⅰで学んだスキルを振り返り、キャリア学習Ⅱでは探究学習を行い6つのスキルを実践して身に付ける。探究学習とは何か、また世の中の課題としてSDGsについて知る。	①
(2)		
(3)		

【面接指導（スクーリング）】

	学習範囲	主な指導内容	面接指導 月
①	キャリア学習Ⅱ　ガイダンス	キャリア学習Ⅰで学んだスキルを振り返り、キャリア学習Ⅱでは探究学習を行い6つのスキルを実践して身に付ける。探究学習とは何か、また世の中の課題としてSDGsについて知る。	
②	成果発表	探究学習で学んできたことを、まとめて発表する。どのような課題に対して、どのような過程で解決案を考えてきたのかを整理して、新たな探究学習や実社会へと繋げる。	

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
・添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや添削指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導（スクーリング）】
・自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
・教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

評 価 方 法

添削指導、面接指導を基に、満足できる成果があったかどうかを適切に判断し、評価する。

【 2023年度 】年間指導計画

総合的な探究の時間	単 位 数	報告課題回数	定期試験回数
総合学習	3	3	

面 接 指 導				
[1]規定回数	メディア学習による減免回数		[1]-[2]-[3]	
	[2]Web	[3]放送視聴		
6			6	

教科書・副教材等

なし

学習目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して，自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに，学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的，協同的に取り組む態度を育て，自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

学習内容

次のとおり「添削指導（報告課題）」「面接指導」を中心に学習を行う。

【添削指導（報告課題）】

	学習の内容・範囲	報告課題
（1）	大学入試について知る	①
（2）	課題テーマの設定	②
（3）	解決案をまとめる	③

学 習 方 法

【添削指導（報告課題）】
・教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
・添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや添削指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導（スクーリング）】
・自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
・教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

評 価 方 法

添削指導、面接指導を基に、満足できる成果があったかどうかを適切に判断し、評価する。

【 2023年度 】 年間指導計画

特別活動	時間数
特別活動Ⅲ	10時間

活動目標
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。